

本競技会におけるドーピング検査について

アンチ・ドーピング委員会

- ・ 本競技会では World Aquatics のルールに基づき、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）によるドーピング検査が行われます。
- ・ 決勝競技に限らず、本競技会に出場するすべての競技者が検査対象となります。
- ・ 検査対象となった場合、シャペロンやドーピング・コントロール・オフィサー（DCO）と呼ばれる検査員から「〇〇選手ですね、ドーピング検査の対象になりました」と通告があります。クールダウンや表彰式などを優先して構いませんが、可能な範囲で速やかに検査室に向かって下さい。
- ・ 尿検査または血液検査またはその両方が実施されます。詳細は通告時に説明されます。
- ・ 18 歳未満の競技者に関する注意点を説明します。未成年の競技者が検査対象となった場合、通告の時点から成人の同伴者（コーチ、監督、トレーナー、チームメート、家族など）が必要となります。競技者と速やかに合流できるよう、予め申し合わせをお願いします。なお、競技者が更衣室に入る際の同伴も求められるため、同性の同伴者が望まれます。成人の競技者でも、同伴者を 1 名付ける権利があります。
- ・ 競技終了後は速やかに AD カードを受け取ってください。多くの通告はこの AD カード返却の際に行われます。
- ・ 特に団体競技では AD カードの返却場所が混み合いますが、正確でスムーズな通告を行うためにも、AD カードは本人が自分のものだけを持っていくようにしてください。
- ・ 検査室に入った後も、用事があれば一時的な退室が可能です。検査終了前の一時退室にはシャペロンや検査員の付き添いが必要になりますので、競技者だけで検査室を離れないで下さい。
- ・ 検査に時間がかかっても、検査未了のまま検査を拒否することは出来ません。
- ・ 水泳以外の多くの競技では検体採取前のシャワーは禁止されています。水泳競技でもシャワーを禁止されることがありますので、あらかじめご承知ください。
- ・ 検査室は医薬品の使用可否を相談する場所ではありません。日本水泳連盟ホームページの「薬の相談窓口」から問い合わせるなど、事前に対策して下さい。

<https://aquatics.or.jp/anti-doping/>



一目で欲しい資料が分かる！

アンチ・ドーピングに役立つ資料

日本最高レベルの競技会
(日本選手権、国民スポーツ大会など)
に出場するレベルですか？

はい

いいえ

大会手続きに役立つ資料や
ドーピングにならない薬の情報を
お伝えします！

競技者TUEガイド



治療使用特例(TUE)の
申請は競技者レベルに
よって異なります

担当医師へのお願い



医療機関受診時に
この資料を持参し、
医師に提示しましょう

いつでも使える薬の例



禁止物質を含まない
市販薬の例が
掲載されています

日常生活においても
アンチ・ドーピングを意識しましょう

日常生活で薬について
困ったことはありますか？

はい

いいえ

役立つ薬の情報をお伝えします！

薬以外の注意喚起をお伝えします！

いつでも使える薬の例



禁止物質を含まない
市販薬の例が
掲載されています

花粉症・鼻炎の薬



禁止物質を含まず
眠気の副作用が少ない
薬を紹介しています

サプリ・栄養ドリンク



禁止物質が含まれて
いることがあるため
要注意です

ぜんそくの薬の注意点



一部の喘息の薬は
禁止されているため
注意が必要です

月経痛・女性アスリート



月経痛に対する
お薬について
紹介されています

競技レベルに関係なく
すべての資料を
ご覧いただけます



まずはお気軽にご相談ください

日本水泳連盟 【アンチ・ドーピング】 【薬の相談窓口】



喘息治療薬のテープ剤に関する注意喚起

日本国内で処方されている喘息治療薬のテープ剤には
ドーピング禁止物質「ツロブテロール」が含まれています

テープ剤から禁止成分が体内に吸収され、ドーピング検査で検出されます。

気管支喘息を患っている選手は主治医と一緒に HP 掲載資料「[ぜんそくの薬を使うときの注意点](#)」をよく確認して治療を受けてください。

また、処方薬を受け取る際に薬剤師にも「処方内容にドーピング禁止物質が含まれていないか」を確認する習慣も身につけましょう。

漢方薬に関する注意喚起

日本国内で販売されている**漢方薬**には
ドーピング禁止物質を含んでいるものがあります

漢方薬の材料に使われることの多い生薬「麻黄（マオウ）」にはドーピング禁止物質「エフェドリン類」が含有されています。生薬に由来した物質であっても、ドーピング検査で禁止物質が検出されれば、アンチ・ドーピング規則違反に問われます。

【処方されることの多い麻黄を含む漢方薬】

葛根湯、防風通聖散、小青竜湯、麻黄湯 など

※他にもたくさんあります

【麻黄を含む一般用医薬品（市販薬）】

カロナール、コッコアポ EX、ナイシトール、ガチラック など

※他にもたくさんあります

麻黄以外にも、呉茱萸、細辛、南天、附子、海狗腎、麝香、鹿茸なども禁止物質を含む可能性のある生薬で、胃腸薬や滋養強壮剤、のど飴などに使われています。

漢方薬は天然物を材料にしているため、含有されるすべての物質が明らかになっていません。そのため、「ドーピング禁止物質を含んでいない」と確実に判断することはできません。

治療目的の使用であっても、漢方薬は治療使用特例（TUE）の審査対象になりません。

漢方薬の安易な使用は避け、漢方薬を使用する場合は事前にスポーツドクターやスポーツファーマシストなどの専門家に十分に相談しましょう。